

2016 年 5 月 12 日
象印マホービン株式会社

タイにおけるステンレスマホービンの生産工場拡張に関するお知らせ

象印マホービン株式会社（本社：大阪市北区 社長：市川典男）は、持分法適用関連会社「ユニオン象印株式会社（英字表記：UNION ZOJIRUSHI CO.,LTD）」のバンパコン工場を拡張し生産能力の強化を図ります。

ステンレスマホービンの市場は、環境志向や節約志向、ライフスタイルの多様化などを背景に年々需要が拡大しています。特に、ここ数年は日本国内のみならず、海外でも大きな伸びを示しており、今後とも更に需要増加が見込まれます。2 年後の 2018 年度の当社出荷予測数は国内外合計で 1,800 万本（2015 年度比 168%）を見込んでおり、こうした世界的な需要の増加に対応するために、生産能力の増強を行います。

現在、タイのバンコク（バンチャン工場）並びにタイ中部のチャチューンサオ県（バンパコン工場）の 2 つの工場でステンレスマホービンの生産を行っており、2 つの工場を合わせた年間の生産数は現在 1,500 万本です。今回、バンパコン工場を拡張することにより、生産能力を年間 1,800 万本に高める予定です。工場の拡張が完了し本格稼働ができる時期は 2017 年 4 月の予定です。

今後も需要の変動を見ながら状況を見極め、より高品質な商品を生産できる生産体制を構築して参ります。

【ユニオン象印の概要】

会社名	ユニオン象印株式会社〔持分法適用関連会社〕 (英字表記：UNION ZOJIRUSHI CO.,LTD)
代表者	Vacharaphong Darakananda
設立	1986 年
所在地	バンチャン工場（タイ・バンコク） バンパコン工場（タイ・チャチューンサオ県）
現在の生産能力	年間 約 1,500 万本
新たな生産能力	年間 約 1,800 万本

この件に関するお問い合わせ
象印マホービン株式会社
広報部 山田・美馬本
TEL 06-6356-2329